

とちぶん会報

No.63

2021年3月15日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

福田三男新会長の新年挨拶

年頭に当たって

2021年が始まりました。明けましておめでとうございます。とは言っても、コロナが吹き荒れるさなかとあって、どこかわだかまる気持ちがとけない新年でもあります。会員の皆さんは、どんな思いで新しい年を迎えられたでしょうか。

暗い一年間でしたが、旧冬にはうれしいニュースがありました。小惑星探査機「はやぶさ2」が、日本の最新技術を詰め込んだ小さな機体に、大きな土産を乗せて宇宙の彼方から帰ってきたのです。もう一つは諸外国で、コロナウイルスのワクチンが開発され、接種が始まったことです。残念ながら、日本製のワクチンは未だ完成を見ないようですが、コロナ禍でも科学技術の進歩は止まることなく、私たちに夢と希望を与えてくれています。

翻って、このような時、文学に何ができるのか、文学が果たすべき役割は何なのかを考えたいと思います。災厄が、思わぬ豊穡をもたらすことがあります。先の戦争が終わった後、無頼派と言われる一群の作家が現れて、焦土に見事な花を咲かせました。作品が戦争ですさんだ人々の心を癒したのです。

昨年の「今年の漢字」は「密」だそうです。コロナ対策で密集、密接などの3密を避けることが肝要だと言われました。「密」には「密かに」という意味もあります。「密かに」悪事を働く政治家もいるようですが、私たちはただ蟄居しているだけでなく、「密かに」力を蓄えて来たるべき日に備えたい、と思うのです。

福田 三男

※ この文章は本年1月1日に協会の公式ホームページへアップロードされました。

朝明第9号合評会の開催を中止しました

1月17日(日)午後1時30分から宇都宮市の栃木県教育会館において、朝明第9号合評会を開催することとしていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況(栃木県への緊急事態宣言の発出)に鑑みて中止としました。

「朝明第9号への意見・感想」を同封しましたのでご覧になってください。

役員会を4月18日(日)に開催します

栃木県文芸家協会役員 各位

栃木県文芸家協会会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、栃木県文芸家協会役員会を以下のとおり開催いたします。役員においては、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

役員向けに同封した出欠の返信ハガキを4月12日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

1. 日時 令和3年4月18日(日) 午後1時30分～3時

2. 場所 おかりや[宇都宮市塙田4-3-15 丁子屋ビル1F/TEL 080-6590-9140]

※ 県庁前通りと宇商通りの交差点[塙田4丁目]の北西の角のビル

バス停は「塙田十文字」(下車してすぐ)又は「宮島町交差点」(下車して北へ徒歩5分)

JR宇都宮駅から徒歩15分、東武宇都宮駅から徒歩20分

3. 議題 (1) 令和3年度栃木県文芸家協会総会審議案件について
(2) その他

令和3年度総会を5月16日(日)に開催します

栃木県文芸家協会会員 各位

栃木県文芸家協会長 福田 三男

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、令和3年度栃木県文芸家協会総会を以下のとおり開催いたします。会員おいては、万障お繰り合わせの上ご出席くださるよう案内いたします。

1. 日時 令和3年5月16日(日) 午後1時30分～2時30分
2. 場所 栃木県教育会館 [宇都宮市駒生 1-1-6/TEL 028(621)7177]
/JR 宇都宮駅方面から関東バス「作新学院・駒生」行きに乗車し「東中丸(会館前)」下車
* 駐車場有り
3. 議題 (1) 令和2年度栃木県文芸家協会事業報告について
(2) 令和2年度栃木県文芸家協会収支決算報告について
(3) 令和3年度栃木県文芸家協会事業計画について
(4) 令和3年度栃木県文芸家協会収支予算について
(6) その他(夏季講演会、朝明第10号の編集方針等)

※ 総会終了後の懇親会は、コロナ禍の状況から開催いたしません。

※ 総会の出欠については、同封した返信ハガキを5月10日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

『創作への志』 会員通信 No.19 随筆部門 小島 延介

随筆を書きだしたのは30年ほど前、本業の市議会活動で少し余裕らしい空間が見えたころだった。かつて新聞記者をしていただけに、原稿を書くのには抵抗がなかったのだろう。5、6年間の県や市の芸術祭の応募を経て2001年に「散る桜、残る桜も……」で文芸賞を受賞、深みに入っていった。

私の文章作法は、記者時代に叩き込まれたリズム感のある文章で、そのためには「推敲」という磨きを何度でもかけること。例えば1編中に同じ言葉を2度と使わないとか、接続詞を極力省略するといった心遣いも忘れたくない。

老境に入ってひらめきが失われてきた。もう少し感性を揺り起こして書き続けていきたい。

令和3年度年会費の納入について

令和3年度の年会費(8,000円)納入を通知します。今回同封した所定の郵便局振替用紙にて、5月末までに納入をお願いいたします。なお、振替払込受領証は領収書となるので大切に保管してください。

§ 寄贈書籍の紹介 §

- 「会えないあなたに贈るうた」/発行人・佐藤孝子/発行所・栃木県歌人クラブ/発行日・令和2年12月1日[発行所からの寄贈]
・コロナ禍のなか「会えないあなたに贈るうた」を募集し、157首の作品が集まり掲載された。
- 「那須の緒 第12号」/発行所・貝塚津音魚/発行日・2021年1月18日[発行所からの寄贈]

§ 新会員紹介 § ・小説部門 石塚 蓉子[佐野市]

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

現在の会員数が92名になってしまいました。昨年3月には一時的に100名に達したのですが、その後、高齢会員の退会が相次ぎました。昨年9月の総会で年会費の値上げが決定されましたが、協会の安定的な運営のためには、会員数が100名程度確保されることが必要です。会員各位のご協力により何とか会員を増やしていきましょう。(三上)